



ポテンシャルの高い街・所沢

衆議院議員 岡本三成

暑中お見舞い申し上げます。日頃より、皆様のあたたかいご支援を頂戴し、心より御礼申し上げます。

昨年5月、「日本創生会議」が、ある推計を発表しました。それは、将来的に、全国の市区町村の約半数である896の自治体が消滅する可能性がある、という衝撃的なものでした。

自治体の消滅というと、少し過激に聞こえるかもしれませんが、しかし、急速に進み続ける少子高齢化による、日本の人口急減は現実の問題です。さらに、大都市圏への人口流出による、地方での人材不足、税収減による財政難など、地方自治体

の将来を悲観する要素は多いと言わざるを得ません。こうした状況をふまえ、自公連立政権は「地方創生」を最重要課題に掲げ、様々な政策や官民一体となった取り組みに注力しています。

しかし、地方創生の主役は、「地域」です。人々は、自分が住む地域にこだわりや愛着を持ちが故に、住み続けたり、あるいは、引越したりします。つまり、生き残り競争ともいえるこの時代に勝ち残っていくためには、各自自治体が主体者となる「地域づくりをしていくことが、何よりも重要です。民間団体が毎年発表

している、全国の都道府県魅力度ランキングがあります。1位は、2年連続で北海道。私の選挙区である北関東4県を見つけるには、下から見ると、埼玉県42位、群馬県と茨城県は46位と47位。この調査結果を私は、こう捉えています。「埼玉県は、魅力がないわけではない。魅力を発揮しきれていない、もしくは、持っている魅力が十分に周知されていない。」と。なぜなら、私自身が所沢に住み、所沢が持つ魅力をとて

「ポテンシャル（潜在力）の高い街・所沢」の長い歴史と文化もある。どこをとってみても、所沢の未来は明るい！という将来を考えたとき、所沢ほどポテンシャルが高い街は、そうは多くはありません。所沢の魅力は何より、そのロケーションにあります。いかなる地域も、ロケーションだけには変えることができません。所沢は、都心からわずか30キロ圏内、交通インフラも充実しており、埼玉県内の西武池袋線沿線で最大の街です。

そして、開けた街でありながらも、無機質な都会と違い、豊かなポテンシャルを感じて

るような政策を実行することが重要だと思えます。しかしながら、現状は、所沢を「住み良い街だ」とは考えていても、「ワクワクする街だ」と考えている住民は、あまりいないのではないのでしょうか。私は、国会議員になる前、ニューヨークで働いていました。その経験から考えると、所沢は、日本のウエスト・チェスターになれ

るような政策を実行することが重要だと思えます。しかしながら、現状は、所沢を「住み良い街だ」とは考えていても、「ワクワクする街だ」と考えている住民は、あまりいないのではないのでしょうか。私は、国会議員になる前、ニューヨークで働いていました。その経験から考えると、所沢は、日本のウエスト・チェスターになれ

るような政策を実行することが重要だと思えます。しかしながら、現状は、所沢を「住み良い街だ」とは考えていても、「ワクワクする街だ」と考えている住民は、あまりいないのではないのでしょうか。私は、国会議員になる前、ニューヨークで働いていました。その経験から考えると、所沢は、日本のウエスト・チェスターになれ

るような政策を実行することが重要だと思えます。しかしながら、現状は、所沢を「住み良い街だ」とは考えていても、「ワクワクする街だ」と考えている住民は、あまりいないのではないのでしょうか。私は、国会議員になる前、ニューヨークで働いていました。その経験から考えると、所沢は、日本のウエスト・チェスターになれ



今日（7月30日）の行事

健康
父と子どもの料理教室
父と子どもの料理教室

健康
父と子どもの料理教室
父と子どもの料理教室

健康
父と子どもの料理教室
父と子どもの料理教室

健康
父と子どもの料理教室
父と子どもの料理教室

健康
父と子どもの料理教室
父と子どもの料理教室